

# 移住風景

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

## はっとうのりんご

りんごの出荷作業は、私の大好きな作業のひとつ。はっとうフルーツ観光園から直送のりんご達は、思い切り吸い込みたくなるような香気を放って、作業室に広がっていきます。

皆さんにこの記事を見ていただいているときには、すでに品種が切り替わっているとありますが、九月中旬からは見事に真っ赤になった秋映りんごと、つやつやピンクの早生ふじりんごの袋詰めや発送作業をうきうきしながらやっています。今年は今までの情勢から近場の屋外レジャーが見直

されたせいか、観光園にもたくさんのお客様におこしただいています。11月15日に閉園ではありますが、もうしばらくこのりんごの香りを楽しんでいただければと思います。



はっとう産 秋映りんご

地域おこし協力隊  
松下 聡子

## 協力隊担当の現場から

\*八頭町発見伝④\*

① 福本オハツキイチヨウ 福本集落にあるオハツキイチヨウは、ギンナンに加え、葉の上に小形の実がなる珍しい木です。慶応元年（一八六五年）、地元の三好覚三郎翁が山梨県身延山上沢寺の種子を請い受けて今の場所に蒔いたもので、現在では県道からはっきりと紅葉した姿が分かるほどの大樹となっています。

② 和多理神社のイチヨウ 郡家殿集落にある和多理神社の境内には、ケヤキ、ツバキなどの古木が生い茂っていますが、十一月の紅葉の時期になると、

一際目を引くのがイチヨウの木です。高さ約30m、周囲約3.7mの大木で、花御所柿の実が赤くなる季節には美しい色のコントラストが描かれます。  
(商工観光室 田中)



和多理神社イチヨウ (花御所柿とのコントラスト)



福本オハツキイチヨウ



### ○協力隊からのお知らせ

・移住風景は、八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。